

# 通学合宿

## ～家族になった4日間～

福岡市 金武公民館【公立公民館】 館長 三角守人  
主事 鐘ヶ江 房代

### 1. 事業名

「通学合宿」開校

### 2. 事業の目的

公民館で子ども達が生活習慣や集団生活を学び、地域の大人との関係を深め笑顔であいさつできる校区づくり

### 3. 事業の実施主体

公民館

### 4. 連携・協力機関・団体等

校区人権尊重推進協議会 校区自治協議会

### 5. 事業予算

チャレンジ事業費 190,000円

1名3,000×約25名=75,000円

### 6. 実施に至る経緯

平成23年度の人権研修会で「地域の教育力を生かした子育て支援」をテーマで～生きる力を育む通学合宿～について志免町社会教育委員の光安めぐみ先生による講演を実施しました。講演の内容から校区でも実施可能と判断して、平成25年2月チャレンジ事業へ申請、5月に大原公民館へ情報収集さらに、人尊協総会にて純真短期大学 特任教授 正平辰夫先生による～通学合宿での地域の役割と子育て～のテーマで研修会を実施しました。

第1回事務局会を6月1日に実施、自治協議会の諸団体の協力が必要との事で実行委員会を立ち上げ、通学合宿実施日を9月16日～19日の3泊4日で小学3～6年生25名と決定しました。その間小学校への協力依頼、申込み、抽選会、保護者への説明会等の他、実行委員会を15回程度開催しまして1年目を迎える事が出来ました。

2年目は実施日を9月23日～26日で27名、3年目は実施日を9月/27日～30日で24名の参加で、3年間無事通学合宿を開催する事が出来ました。

## 7. プログラム作成の視点

核家族化少子化のなかで、親の過剰な支持と手助けの家族から離れ、公民館や他の施設で経験豊かな地域の大人や若いボランティアで指導していこうと計画しました。

- (1) 自分たちの生活を自分たちの力で考え、責任を持って行動することで自立心を養う。
- (2) 自分の生活を見直し家族を考える、他人からの温かさ、やさしさを感じとって成長してもらいたい。

## 8. 事業の内容

子どもたちが親元を離れ公民館に寝泊まりしながら、学校に通いました。

1日目はレクリエーション、芋ほり、バーベキュー、花火と楽しみながらみんなの距離を縮めました。大人と子ども、大学生や中学生のボランティアも一緒に活動を行い、お風呂は、地域のお宅にもらい湯に行きます。



朝食は、ボランティアが準備し、子どもたちは食事のできるまで、寝具の片づけと洗面をすませ部屋の掃除をします。ご飯やみそ汁をよそったり、お茶碗を洗うのも子どもたちで、食事が終わったら全員で登校します。



学校から帰ったら、うがい、手洗い後、水筒とお箸を洗い、夕食の準備は切る、炒める、味付け全て子どもたちが行い、宿題は、夜寝るまでに時間を見つけてしました。



3泊4日最終日の退館式は、子どもと保護者、実行委員、ボランティアが参加して行いました。リーダーとしてみんなを引っ張った6年生からの言葉は地域や保護者への感謝の言葉にあふれていて、とても頼もしく感じました。



## 9. 事業の成果

今回の事業で述べ76名の子供たちが貴重な体験をしました。そして、校区諸団体や学生ボランティアの方々も3年間で300名超となりました。このような大規模事業ができたのは、校区の方々の「優しさ」や「温かさ」の表れであり校区全体が一つの絆で結ばれたと思います。

## 10. 今後の課題

保護者への終了報告会（意見交換会）で、来年度も継続してほしいとの意見が有りましたが、公民館チャレンジ事業は3年間（平成25年度～平成27年度）の為、予算上今回で終了しますと了解を頂きました。

受け入れ時にアレルギー体質の子どもには、使用材料等を保護者に確認して頂き対応不能の時は、保護者による食事の提供をお願いしました。

今後は、ジュニアリーダーに企画から運営をお願いして、野外活動（レクリエーション）、バーベキュー等をしながら、「つながりを大事にする」を実践して将来のボランティア育成をします。

## 問い合わせ先

福岡市金武公民館

〒819-0035 福岡市西区大字金武 2136-1

TEL:092-812-1967 FAX:092-812-5811

E-mail:kanatake47@jcom.home.ne.jp